

登録有形文化財（建造物）の概要

1 春田家住宅主屋、春田家住宅門及び塀について

所在地：名古屋市東区主税町三丁目 6-2 他

所有者：個人

名称	形式	建設年代	登録基準
春田家住宅 主屋	木造 2 階建、 瓦葺	大正13(1924)年／ 平成12(2000)年改修	造形の規範となっているもの
春田家住宅 門及び塀	門：木造瓦葺 塀：木造瓦葺	大正13(1924)年頃／ 平成12(2000)年改修	国土の歴史的景観に寄与しているもの

（春田家住宅主屋）

名古屋城東方の住宅地に位置する、もと陶磁器貿易商の主屋。敷地北側の洋館に和館を接続し、いずれも 2 階建^{さんがわらぶき}。洋館は南面にベランダを付し、1 階は折上天井^{おりあげ}の応接間、2 階に床構え付き座敷など表向きの部屋を配す。和洋の意匠を巧みに用いた端正な住宅。

（春田家住宅門及び塀）

主屋の正面、通りに南面する門及び塀。門は通りより控えて建つ切妻造^{きりづまづくり}平入^{ひらいり}瓦葺^{うでぎもん}の腕木門^{うでぎもん}で門口に両引戸を建て、上部は吹寄^{ふきよせ}の檼^{たすきざん}棧^{らんま}欄間^{らんま}とする。塀は切石基礎に建つ総延長 20 メートルの板塀で外面は漆喰塗^{しっくいぬり}で、腰は堅板張^{かたいたばり}。門と一体で屋敷の風格ある表構えをつくる。

瓦葺¹：横断面が波型（S 字型）の平瓦で葺いたもの

切妻造²：本をなかばひらいて伏せた形の屋根

平入³：切妻造の大棟に平行な側（平）から建物に入る構造のこと

腕木門⁴：二本の本柱から腕木を出し、出桁をおいて、屋根をかけたつくりの門

吹寄⁵：棧二本を一組として配置すること

檼⁶：たすきの形に斜めに交差させた棧

欄間⁷：天井と鴨居の間の壁に設けた開口



春田家住宅主屋



春田家住宅門及び塀

2 名古屋市演劇練習館（旧稲葉地配水塔）について

所 在 地 ： 名古屋市中村区稲葉地町一丁目 47

所 有 者 ： 名古屋市

名 称	形 式	建設年代	登録基準
名古屋市 演劇練習館 （旧稲葉地 配水塔）	鉄筋コンクリー ト造、地下 1 階 地上 5 階建	昭和12(1937)年／ 昭和40(1965)年、 平成 7 （1995）年改修	国土の歴史的景観に寄与し ているもの

名古屋駅西方の稲葉地公園内に位置する旧配水塔。鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 5 階建。基壇上に建つ円筒形の構造体の中心と外周に長大な円柱を立てて、上部の巨大な貯水槽を支持する。古代の円形神殿を想起させる壮麗な姿が、地域のランドマーク的存在。現在は名古屋市の演劇等の練習用施設として活用されている。



名古屋市演劇練習館（旧稲葉地配水塔）